

応募者名 (団体・個人)	新日本歩く道紀行 100 選町	担当者	100 選 太郎
-----------------	-----------------	-----	----------

道の名称	世界遺産の宇治・源氏物語を訪ねるみち
------	--------------------

No.	ポイント名称	紹介説明 (120 文字程度)	距離	時間
起 点	平等院	平安時代後期、1052 年に関白藤原頼通が、父道長の別荘を寺院に改めたものです。世界遺産に登録されています。10 円硬貨にデザインされている鳳凰堂には、仏師定朝の作になる阿弥陀如来像 (国宝) が、安置されています。平等院ミュージアム「鳳翔館」では美術工芸品を見ることができます。	0 km	0 時間
1	市営茶室「対鳳庵」	着物姿の先生のお点前を見ることができる本格茶室です。平等院鳳凰堂に相對していることから「対鳳庵」と名付けられました。香り高い本場の宇治茶と季節の和菓子が味わえます。作法を全く知らなくても大丈夫ですので、気軽に訪ねてみて下さい。	0.2 km	3 分
2	十三重石塔	塔の島にある高さ約 15 m の日本最大の石塔で、1286 年に西大寺の僧叡尊により建立されました。叡尊は、朝廷の命により宇治橋の修復を行いました。殺生禁断の思想の持ち主で、網代や漁具を埋めた上にこの石塔を建立し、魚霊の供養と宇治橋の安全を祈りました。	0.2 km	3 分
3	宇治十帖モニュメント	市内に点在する源氏物語「宇治十帖」の古跡全体を象徴するモニュメントで、ヒロイン「浮舟」と「匂宮」が小舟で宇治川に漕ぎ出す有名な場面をモチーフとしています。宇治十帖のストーリーや登場人物に想いを寄せながらの記念撮影や散策途中の休憩に格好のポイントです。	3.5 km	42 分
4	源氏物語ミュージアム	源氏物語、最後の十帖は主要な舞台が宇治の地に設定されていることから「宇治十帖」と呼ばれています。「宇治十帖」の世界を分かりやすく紹介する展示や映画を上映しています。平安文化を楽しみながら知ることのできる施設です。	0.5 km	5 分
5	三室戸寺	約 1200 年前に創建されたといわれる本山修験宗の別格本山です。西国三十三ヶ所巡礼の十番札所として現在でも多くの方が訪れています。所蔵の仏画や仏像には藤原時代のものが多く、霊宝殿にはわが国で最も古い清涼寺式釈迦像の模刻があります。現在は寺の花としても有名です。	1.3 km	20 分
6				
7				
8				
9				
10				
終 点	宇治橋	大化 2 年 (646) に奈良元興寺の僧道登によって架けられたと伝えられ、現在の橋は 1996 年 3 月に完成したものです。上流側に張り出した「三の間」は、守護神「橋姫」を祀った名残や豊臣秀吉が茶の湯に使う水を汲ませたところともいわれ、上流の眺めは絶景です。	1.6 km	22 分

本説明文は、100 選に選ばれた際に、ウォーカーへの見どころ説明文として使用いたします。

※ポイントが 10 ヶ所以上場合は本用紙を 2 枚ご使用ください。(2 枚目の No. をふり直してください)

※添付いただく写真には、必ずどのポイントの写真に名称を記載してください。

※注意：応募用紙をご提出の際は必ず控として記録を残してください。お送りいただいた写真は返却できません。